5・6年生が作った新聞です

三朝東小（みささ ひがしょう）

【沿　革】
明治43年　三徳小・小鹿小が統合して開校
明治45年　新校舎落成、寄宿舎竣工
明治47年　水泳プール竣工
平成２年　新プール完成
「ふれあいの森」造成
平成３年　校舎大規模改造完成
「フィールド・アスレチック」完成
平成７年　「ふれあいの森スキー場」オープン
平成11年　体育館大規模改修
平成22年　体育館耐震改修工事完了
平成23年　校舎耐震改修工事完了

【学校名】三朝町立東小学校
【所在地】三朝町余戸32の１
【校長名】中島立志
【児童数】43人

【教育目標】
豊かな心を持ちたくましく生きる子どもの育成～主体的に行動し　21世紀を～徳・知・体の調和のとれたくましく　やさしく　かしこく　たくましく

勇壮な演奏で幕開け
東小最後の学習発表会

東小最後の「学習発表会」が昨年10月13日、体育館で開かれ、児童が歌や劇を発表した。オープニングでは上学年が「東小太鼓」を披露。力強い演奏に、来場者からは盛大な拍手が送られた。

今年の上学年は、例年以上に合唱にも力を入れて取り組んだ。曲は「秋まつり」。3部合唱で歌う曲だ。

初めて聞いたときはとても難しそうで、思わず口が開いてしまうほどだった。それでも練習を重ねるうちに、きれいに音を合わせられるようになり、本番では強弱のある美しい歌声を会場に響かせることができた。

劇は、4～6年の児童19人が協力して取り組んだ。6年生は「東小の歴史」について上演。昔の東小の様子を面白おかしく表現して盛り上げた。

5年生は「東小の子どもがぐんぐん伸びる秘密」をテーマに劇を披露。スクリーンの映像を上手に使って演じた。ものまねなども取り入れ、会場からは笑いが起きた。

4年生は「今、東小で頑張っていること」をニュース仕立ての劇で紹介。いつもの生活を、ユーモアを交えてリアルに再現した。

最後に、劇を上演した全員が東小や地域の人へのメッセージを一言ずつ発表し、地域の皆さんにしっかりと感謝の気持ちを伝えた。

4年生の能見優波さんは「新しい小学校に行っても、東小でつけた力を生かして頑張っていきたい」と話した。（6年・吉田輝）

力強く東小太鼓の演奏を披露する上学年の児童

笑顔で劇を上演する１年生

息ピッタリの応援魅了
【運動会】

息の合った応援を披露する青組の児童

東小校区秋季大運動会が昨年9月16日、校庭で開かれた。全校で毎年恒例の「東小アドバンス」を披露。途中の組体操では全員が息を合わせて美しい演技を行い、来場者から大きな拍手が送られた。熱のこもった応援合戦も繰り広げられ、会場を盛り上げた。

東小のアドバンスは動きの〝きれ〟が大切で、児童は「指先までしっかり伸ばす」などの細かい点を意識して夏休み前から練習に励んできた。

アドバンスの中盤に素早い動きで全校での組体操を行った。全員でタイミングを合わせないと見た目の美しさが生まれないため、一人一人が気を引き締めて全力を尽くした。

縦割り班による「4色対抗の応援合戦」では、各チームが息の合った応援を披露した。それぞれに隊形移動や応援歌の振り付けなど、全員で話し合って決め、練習を重ねてきた応援は、審査員をうならせるものばかりだった。

見事に優勝を勝ち取った青組リーダーの吉村若葉さん（6年）は「チームのみんなと協力して一つのことを成し遂げることの大変さと大切さを学んだ」と述べた。

この運動会は毎年、地域の人と一緒に行ってきた。6年生の長安一樹さんは「来年度から形は変わっても、ずっと残り続けてほしい」と話した。（6年・山本桜希）

学年を越え仲間の絆
【縦割り班活動】

東小では、全校児童が赤・黄・白・青の4色のチームに分かれて縦割り班活動を行っている。1年間を通して、縦割り班で多くの行事や活動をする。

昨年5月1日の全校遠足では、縦割り班でオリエンテーリングを行った。本年度は校区内の小鹿渓を散策し、クイズに答えながら、どの班も楽しく歩くことができた。

普段の活動として、縦割り遊びや縦割り掃除を行っている。縦割り遊びの日は、鬼ごっこやかくれんぼなどをして学年を越えて全校が仲良く遊んでいる。年に1度の綱引き大会ではチームで息を合わせて綱を引き、全校で盛り上がった。

また、毎週火曜日には縦割り班掃除に取り組んでいる。誰がどこを清掃するかを話し合い、みんなが協力して掃除に励む。2年生の能見知宏さんは「他の学年の友だちとも仲良くなれてうれしい」と話す。縦割り班活動を通して、児童は仲間との絆を強めている。（5年・吉田太輝、前田海斗）

息を合わせて綱を引く黄組の児童

励まし合い結果残す

真剣な表情でたすきをつなぐ4年生

【陸上と水泳】

東小では、全校で陸上競技や水泳の練習に熱心に取り組んでいる。昨年11月18日に三朝町内で開かれた「第17回小学生交流クロスカントリーリレー大会」では、2年生以下の部で優勝を飾り、4年生以下の部で準優勝するなど、練習の成果をしっかりと発揮した。

陸上では、体育の時間や放課後に校庭や体育館で練習を重ね、全校での駅伝や階段昇りで体力を付けた。児童はそれぞれ走る距離の自己ベストを出そうと毎日努力している。その努力のかいあって、毎年全校で参加している同クロスカントリー大会で優秀な成績を残すことができた。

水泳も体育の時間や放課後にプールで練習をしてきた。1、2年は小プール、3～6年は大プールで泳ぎの力を磨いた。

みんなで励まし合いながら厳しい練習を乗り越えたおかげで、東伯郡や中部地区の大会で多くの児童が入賞を果たした。児童はそれぞれに自己ベストを伸ばすことで達成感を味わうとともに、さらにたくましくなることができた。

6年生の山本桜希さんは「指導してくださった先生方に感謝したい。その感謝を結果で伝えることができてとてもうれしい」と話した。（6年・長安一樹）

心込め おもてなし
お世話になった人へ

【東小まつり】

「東小まつり」が昨年11月14日、学校内で開かれた。いつもお世話になっている地域の人や保護者に感謝の気持ちを伝える恒例行事で、最後のまつりとあって児童は例年以上に力を入れて取り組んだ。

1～3年生は、生活科や理科の学習で学んだことを生かして、工作やおもちゃランドのコーナーを設け、来場者に楽しんでもらった。

4年生10人は、4人と6人に分かれて「5年生組」「6年生組」にそれぞれ加わって取り組んだ。5年生組は、自分たちで栽培した米を餅にして地域の人やほかの児童に振る舞った。

6年生組はお化け屋敷にチャレンジ。理科室で、怖い効果音やぞうきん、ひもをつるすなどの仕掛けを用意したり、後ろや横から急に声を掛けたりして来場者を驚かせた。

本年度が最後となった東小まつり。5年生の前田海斗さんは「この学校でたくさんの人にお世話になりながら、さまざまな学習をしてきた。最後の東小まつりで感謝の気持ちを伝えることができて良かった」と話した。（6年・山本心）

地域の人と一緒に遊びを楽しむ児童

美しい自然に感謝
学校近くの小鹿川で

【川遊び集会】

東小の伝統行事「川遊び集会」が昨年7月11日、学校近くの小鹿川で行われた。異なる学年同士の児童でペアを組み、泳いだり魚を捕ったり、水を掛け合うなどして仲良く遊んだ。

児童らは川に入ると「水が冷たい」と言いながらも、はしゃいだり岩場で休んだりして楽しんだ。深い場所では6年生が1年生をおんぶするなど、全校が安全に遊べるように気を付けて過ごした。

学校に帰ってからは、地域の人からもらった大きなスイカをみんなで頬張った。今年も甘くてとてもおいしいスイカで、児童たちは喜んでいた。

川遊び集会は地域の自然を生かした行事だ。6年生の山本心さんは「毎年この行事のために地域の人が草刈りをしたりスイカを用意したりしてくださり、ありがたい。感謝でいっぱい」と述べた。

5年生の吉田心洋さんは「東小校区ならではの美しい自然をこれからも守っていきたい」と話した。（6年・吉村若葉）

水を掛け合ってはしゃぐ児童

ユニークな「歯みがきサンバ」
【給　食】

「歯みがきサンバ」に合わせて歯を磨く2年生

東小では給食時間になると、全校児童と先生たちがランチルームで給食を食べる。食事中にはクイズや誕生日の紹介などで交流しているほか、食後には一斉歯磨きも行っている。

準備はペアの学年で協力して行っている。食事中に、すこやか委員がその日のメニューや給食センターからの一口メモを紹介する。その後にあるクイズは一口メモに関わる簡単なクイズで低学年に人気が高い。

また、月に1回、その月の誕生日の人を紹介する活動を行っている。委員がメッセージカードをプレゼントして、みんなで誕生日をお祝いする。

食後に行う歯磨きもユニークだ。「歯みがきサンバ」という曲に合わせて、全校で一斉に歯磨きをする。

給食の時間は、子どもたちにとって楽しいひと時になっている。（5年・吉田心洋、寺坂隆斗）

ありがとう。東小 ―ずっと忘れない
編集後記

この学校新聞作りを通して、新聞を作る仕事の大変さと魅力を感じることができた。

出前授業では、日本海新聞の担当記者から記事の書き方や写真の撮り方を具体的に教えていただいた。そこで学んだことを生かして、読者に意図が伝わるよう工夫して記事を書くことができた。

東小は本年度で閉校してしまうが、この新聞でたくさんの人に東小のことを知ってもらいたい。そして、たくさんの人に東小のことをずっと、ずっと忘れないでいてほしい。

（6年・吉村若葉、長安一樹、吉田輝、山本桜希、山本心）